

富士市認定こども園 富士保育園 園長 後藤 匡先生

令和五年六月二十五日に富士市八幡町にある富士保育園の落成式が行われました。

社会福祉法人 富士育英福祉会が運営する富士保育園は一九五七（昭和三十二）年に開設し、園舎の改築や定員の増減などを重ねながら、地域の多くの子どもたちを送り出してきました。在園児や卒園児、職員にとって思い入れのある建物でしたが、近年、老朽化が進んできたため解体を決定し、二年間の工事期間を経て、このたび新園舎の竣工に至り、またそれに合わせて昨年、定員一六〇名の認定こども園として施設変更も行いました。当日は、新園舎の完成を祝って落成式および祝賀会が執り行われ、約六〇名の関係者を招いて節目を祝いました。また、落成式前には、内部のお披露目も兼ねて施設の内覧も実施しました。

旧園舎の園庭に建てられ、上に伸びる形で建てられた施設となる新園舎は鉄筋コンクリート造三階建て、敷地面積が一、九九九平方メートル。延べ床面積約一、二〇四、六五平方メートル。一階に〇歳児、一歳児保育室と給食室二階には二歳児保育室と多目的ホール。三階フロアは全てが幼児クラスの保育室となっています。新園舎での生活自体はもう一年になりますが、使う中で出てくる「ここがもうちょっと」な所も色々工夫しながら使い、

素敵な園舎になっていければと思います。



園舎と同じく今年度より園長も交代し、富士保育園の新しいページを足していく事になります。

前園長でもある理事長の後藤弘明先生は毎年、入園説明会や新年度の進級式で保護者に話す「三つの保障」の話があります。保育施設ではそこを利用する園児・保護者に対して

三つ保障するものがあり一つ目は「安全の保障」大切なお子様を預かるうえで最低限なこと、二つ目が「発達の保障」通ってくる子どもたちに専門職として出来るだけの働きかけを行っていく事、そして最後の三つ目に「幸せを保障してあげる」こと、これが一番難しいとしつつも職員も園児も保護者もできれば地域の人も富士保育園に関わっている時間が幸せで、そこに寄り添える園であればと願っています。

子どもたちが子ども時代を一生懸命に過ごせるように園が果たす役割を理解し、保育目標である「自分で考え、行動し、責任が持てる子」を育む保育をしていくために乳児期と幼児期でしっかりと丁寧な保育をこの園で行っています。

